

第55回「県展」 -- 彩の国県民芸術文化祭 2005--

5月31日～6月22日まで開催された「県展」の、狭山市からの出展者は次のとおりです。

部門	賞	出展者	題名	文団連 会員	部門	賞	出展者	題名	文団連 会員
日本画	NHK	小森正子	優しい時間		彫刻	招待	水村昭二	風	
		沼崎和子	花野						
		渋江幸子	鶏頭		書		大坂素秋	杜甫詩	
	招待	鈴木至夫	雪舞う(奥能登)				星野惺苑	李白詩	
							川村彩雲	漱石詩	
洋画		宮島勝則	樹影				細田秋僊	陶淵明詩	
		青木一男	雪後巴川				宮原彩霞	春の曙	
		石黒妙子	だいこん				渡辺不二	山居	
		北田三代次	春昼			委嘱	牛窪梧十	難興世同塵	
		神宮紀勢子	ensemble						
	委嘱	柏敬子	花の日		写真		石井国利	幸福を込めて	
	招待	青木照雄(版画)	廃墟の花				萩野充則	梅雨の晴れ間に	
	招待	柏 健	ラピラント				関根勝正	終末の詩	
							田口定一	祭りの子	
工芸	埼玉協	鈴木淳(金工)	銀製合せかね香炉				田口正平	大空	
	県教委	大塚充之(ガラス)	プラネット				千田雅彦	閑日	
		落合房子(陶芸)	幾何学紋様筒花入				富田和子	朝もやの中で	
		服部光雄(陶芸)	硫線文鉢				山崎光隆	銀河鉄道のように	
		森泉芳江(陶芸)	布染椿紋組皿				松原廣司	夕日に誘われて	
		鳥山由貴子(陶芸)	灰釉線紋組皿						
	運・審	植松隆(陶芸)	加彩泥釉平組皿						

注：NHK = NHKさいたま放送局賞、埼玉協 = 埼玉県美術家協会賞、県教委 = 埼玉県教育委員会賞

運・審 = 運営委員・審査員、委嘱 = 出品委嘱。空欄の方は入選者です。(編集：広報委員会)

----- さやま・文化の息吹 -----

狭山市美術家協会

水村 昭(狭山市美術家協会)

設立は1979年。その前年、中央公民館のOさんが企画した「狭山市在住美術家展」に端を発します。当時狭山市も人口増加の一途にあり、美術家の在住者も相当いるのではと、主に都美術館を発表の場に行っている多くの美術団体の名簿から、狭山の人を拾い出したOさんの呼びかけで、前記展がこの年2回、春秋と中央公民館主催で開催されました。

ここで初めて顔を合わせた作家たちの間で、自立の気運が高まり、以後は会をつくって続けようということになり、今の文団連の前身「狭山市文化協会」美術部門の人が中心になって、「狭山市美術家協会」を設立したわけです。そして、第3回展からは毎秋の定期展として現在に至っております。本年も11月16日～20日、第29回展を開催することになっています。

本会は、絵画(日本画、洋画、版画)・彫刻・工芸の3部門を擁し、狭山市の美術文化の振興と市民文化の啓蒙を目的として活動しております。また、市内各種のこどもの絵画展の際には、その審査・展示について協力しております。協会展を機に市民交流会を催していますが、昨年からは「美術懇話会」と称して、作家の芸術観・技法などを語りながら市民の美術へのさらなる関心と理解を深める催しを行っております。興味をお持ちのかたは、今年もどうぞご来場ください。